

兵庫県産軟鞘類*

高橋 寿郎

軟鞘類 (Malacodermata) とは甲虫類 (鞘翅目) の中の 1 グループで一般に体や上翅が軟く、触角が糸状、鋸状または櫛状を呈して食肉性のものであり日本産は 6 科に別けられる。兵庫県からは 5 科のものが記録出来た、それら科に属する如何なる種が県下にいるかを一応まとめて発表しておきたい。

本文を草するにあたり標本同定をお願いした愛媛大学、久松定成氏に厚くお礼申し上げる。

なお、県下普通にいる種は産地、解説を省略した。これ等は有名図鑑類にはほとんど出ており同定も簡単なものである。

兵庫県産軟鞘類の科の検索表

- 1 腹部は 7~8 節からなる…………… 2
- 腹部は 5~6 節からなる…………… じようかいぼん科
- 2 触角は頭の上面から、または前頭の突起の基部から出る…………… 3
- 触角は前頭の両側、眼の前方から出る…………… ほたるもどき科
- 3 中肢基節は左右が相離れる…………… べにぼたる科
- 中肢基節は互に相接する…………… 4
- 4 触角は左右が近づく、上側板は常に基部で巾が広い…………… ほたる科
- 触角は左右が相離れてつく、上側板は基部で巾が狭い…………… じようかいぼん科

Family Melyridae じようかいもどき科

1. *Laius histrio* Kiesenwetter
ヒロオビジョウカイモドキ
黒色、前背板側部は細かく弱く点刻され、上翅には巾の広い橙色の横帯があつて白く縁どられ会合線で狭まる。触角、脚は黄褐色。体長: 2.5~3 mm
産地: 宝塚市武田尾 (1ex., 25—VII—1954), 朝来郡生野 (2exs., 4—VIII—1957)
2. *Ebaeus chlorizanus* Kiesenwetter
ルリヒメジョウカイモドキ
産地: 宝塚市武田尾 (4exs., 25—VII—1954), 神戸市二十番 (1ex., 26—VI—1955), 朝来郡生野 (1ex., 8—VII—1956)
3. *Malachius prolongatus* Motschulsky
ツマキアオジョウカイモドキ

普通種。

Family Drilidae ほたるもどき科

1. *Drilonius striatulus* Kiesenwetter
ホソホタルモドキ
体長: 3.5~5 mm、体扁平で黒褐色、前背板と脚の 1 部は淡色、上翅の両側は赤色を呈する。
産地: 神戸市烏原 (1ex., 10—VI—1956), 氷上郡 (山本, 1958), 飾磨郡雪彦山 (1ex., 14—VII—1957), 宍粟郡音水 (1ex., 13—VII—1958, 3exs., 20—VII—1959, 久松氏同定)
2. *Drilaster axillaris* Kiesenwetter
産地: 宍粟郡音水 (1ex., 20—VII—1959, 久松氏同定)

Family Lycidae べにぼたる科

1. *Macrolycus flabellates* Motschulsky
クシヒゲベニボタル
♂ 触角第 3~10 節は櫛状で前背板は長さより巾広く前縁は中央円味を帯び後角は側方に突出し、上翅には 4 縦隆条を有し第 3 条は不明瞭。
産地: 宍粟郡音水 (1ex., 20—VII—1959), 養父郡水の山 (1ex., 25—VII—1959), 美方郡扇の山 (辻, 1960)
2. *M. dominator* Kleine コクシヒゲベニボタル
前種に似るが触角は弱鋸状、上翅には 3 縦隆条を有する、*Macrolycus* 属は爪に歯を有するにより他の属と別けられている。
産地: 養父郡水の山 (1ex., 12—VII—1951, 1ex., 27—VII—1956)
3. *Mesolycus atrorufus* Kiesenwetter
ホソベニボタル
頭部は小さく、触角は紐状、前背板前縁は円く突出し、両側は後方に広がる、上翅には 3 縦隆線を有する。
産地: 氷上郡 (山本, 1958), 養父郡水の山 (1ex., 27—VII—1956, 1ex., 21—VII—1958, 1ex., 25—VII—1959) 美方郡扇の山 (辻, 1960)
4. *Lycostomus modestus* Kiesenwetter
ベニボタル
普通種。
5. *Pyropterus nigro-ruber* Degeer
フトヒシベニボタル
産地: 津名郡岩屋 (1ex., 29—IV—1961)

* 兵庫県甲虫相資料 19

6. *Dictyoptera gorhami* Kōnō ヒシベニボタル
前背板中央はやや暗色をおび、中央に縦菱形の明かな隆線により囲まれた室を有し、上翅は各条の縦隆線を備え間室は2点刻を持つ少い種である。

産地：氷上郡 (山本, 1958), 実粟郡音水 (1ex., 20—VII—1959)

7. *D. oculatus* Gorham メダカヒシベニボタル
産地：氷上郡妙高山 (4—V—1957, 高橋, 1960)

8. *Platycis nasutus* Kiesenwetter
テングベニボタル
産地：神戸市山の街 (1ex., 10—V—1959), 円生山 (1ex., 18—V—1958), 氷上郡 (山本, 1958), 飾磨郡雪彦山 (1ex., 14—VII—1957)

9. *P. otome* Kōnō ムネアカテングベニボタル
産地：神戸市広野 (1ex., 10—IV—1955), 氷上郡春日野 (20—IV—1958, 高橋, 1960)

10. *Aplalopterus lineatus* Gorham
ジュウジベニボタル
産地：美方郡扇山の (辻, 1960)

11. *Cautires geometricus* Kiesenwetter
クロベニボタル
体黒色を帯びるが上翅基部のみ赤褐色を呈する、少い種である。

産地：養父郡氷の山 (1ex., 27—VII—1955, 1ex., 21—VII—1958, 1ex., 25—VII—1959)

12. *Cladophorus incompositus* Ohbayasi
大林氏に依り新種として記載されたが氷の山産の1♂がふくまれている、(Mushi, X X VI, 6, PP. 20~21, 1954), 前種に似るが全く黒色、そして上翅縦隆条の間室が不規則で乱雑である。

産地：養父郡氷の山 (1♂, 30—VII—1952, 中根, 大林, 1954)

13. *Xylobanellus tenuis* Kōnō
チュウゼンジベニボタル
産地：美方郡扇の山 (辻, 1960)

14. *Plateros caracinus* Kiesenwetter
クロハナボタル
体は全体に黒色、前背板側縁黄褐色を呈する。
産地：神戸市鳥原 (1ex., 15—VI—1952), 山の街 (1ex., 30—V—1954), 氷上郡 (山本, 1958), 養父郡氷の山 (1ex., 21—VII—1958)

15. *Lygislopterus sanguineus* Linné
セグロベニボタル
上翅美しい赤色、前背板黄褐色から黒味を帯びる。
産地：神戸市山の街 (1ex., 4—VII—1954), 円生山 (1ex., 18—V—1958)

16. *Pristolycus sagulatus* Gorham

スジグロベニボタル

産地：養父郡氷の山 (高橋, 1959)

17. *Libnétis granicollis* Kiesenwetter
コクロハナボタル
産地：飾磨郡雪彦山 (2exs., 14—VII—1957), 氷上郡 (山本, 1958), 養父郡氷の山 (2exs., 27—VII—1956, 2exs., 21—VII—1958)

18. *Lyponia quadricollis* Kiesenwetter
カクムネベニボタル
普通種。

Family Lampyridae ほたる科

1. *Psilocladus ruficollis* Kiesenwetter
ムネクリイロボタル
背面にやや光沢があり黒色乃至黒褐色、前背板は橙赤色、小楯板、脚、腹部末端2節は褐色、♂の触角は各節から2分枝を出している。稀である。

産地：氷上郡 (山本, 1958), 養父郡氷の山 (1ex., 27—VII—1956)

2. *Lucidiana accensa* Gorham オオオバボタル
次のオバボタルに似るが大形 (体長、13mm) で触角はより太く、前背板の赤色部は大きく鮮か、余り多くない。

産地：氷上郡 (山本, 1958), 実粟郡音水 (1ex., 20—VII—1958), 養父郡氷の山 (1ex., 20—VII—1958), 美方郡扇の山 (辻, 1960)

3. *L. biplagiata* Motschulsky オバボタル
普通種。

4. *L. cruciata* Motschulsky ゲンジボタル

5. *L. lateralis* Motschulsky ヘイケボタル
県中央部から北部にかけて多くいる。

6. *Hotaria parvula* Kiesenwetter ヒメボタル
体黒色でやや光沢があり黒色毛を装う、前胸は桃色で背板の前縁中央とこれに続く扁たい三角形紋は黒褐色、後端中央の横紋は暗色。

県下では氷の山にのみ産することが知られている。

産地：養父郡氷の山 (3ex., 21—VII—1958)

7. *Pyrocoelia fumosa* Gorham クロマドボタル
♂は暗黒色、光沢を欠き扁平、前背板前方に1対の透明な窓状部分がある。♀では上翅退化して痕跡的。

産地：神戸市山の街 (1ex., 4—VII—1954), 実粟郡音水 (1ex., 20—VII—1959), 養父郡氷の山 (2exs., 21—VII—1958), 養父郡扇の山 (辻, 1960)

8. *P. discicollis* Kiesenwetter オオマドボタル
クロマドボタルに似るが前背板中央後方が矩形に淡紅色を呈する。

産地：氷上郡篠ヶ峯 (23—VII—1959, 高橋, 1960), 飾磨郡雪彦山 (1ex., 14—VII—1957), 実粟郡音水 (1ex., [以下 p. 225へ])

[p. 233より]

13—Ⅶ—1958), 養父郡氷の山 (3exs., 21—Ⅶ—1958), 美方郡扇の山 (辻, 1960)

Family Cantharidae じょうかいほん科

1. *Themus cyanipennis* Motschulsky

アオジョウカイ

体は黒色、前背板の両側は淡黄褐色、上翅は黒藍色でやや金属光沢を有する、(体長、15~20mm)

産地：氷上郡 (山本, 1958), 養父郡氷の山 (7exs., 27—Ⅶ—1956)

2. *T. episcopalis* Kiesenwetter

キンイロジョウカイ

体は黒色、触角、口器、前背板の両側、上翅の末端、前胸、腹板の後縁及び末端節、胚節、跗節等は黄褐色、上翅は翅端を除き青銅色乃至紫銅色で美しい金属光沢を有する。体長、20~23mm、比較的多い。

産地：神戸市山の街 (1ex., 16—Ⅴ—1954, 1ex., 30—Ⅴ—1954, 1ex., 6—Ⅴ—1958, 2exs., 1—Ⅵ—1958, 1ex., 7—Ⅵ—1959), 谷上 (1ex., 25—Ⅴ—1948), 大山寺 (1ex., 6—Ⅴ—1957), 氷上郡 (山本, 1958)

3. *Athemus suturellus* Motschulsky

ジョウカイボン

4. *A. atristatus* Kiesenwetter クロジョウカイ

5. *A. vitellinus* Kiesenwetter セボンジョウカイ

6. *Prothemus ciusicana* Kiesenwetter

マルムネジョウカイ

ともに普通種。

7. *Podabrus lictorius* Lewis

ミヤマクビボソジョウカイ

上翅薄黄褐色、各上翅に多少とも暗色の縦帯がみら

れ、前背板は縁部を除き黒褐色。

産地：神戸市六甲山 (1ex., 8—Ⅴ—1955), 谷上 (1ex., 20—Ⅳ—1958)

8. *P. heydeni* Kiesenwetter クビボソジョウカイ

9. *P. temporalis* Harold

ウスイロクビボソジョウカイ

10. *P. macilentus* Kiesenwetter

ヒメクビボソジョウカイ

11. *Rhagonycha japonica* Kiesenwetter

ヒメジョウカイ

ともに普通にいる。

12. *Trypheus niponicus* Lewis

キベリコバネジョウカイ

産地：神戸市摩耶山 (Ⅶ—1948, 中根, 1955)

13. *Cantharis oedemeroides* Kiesenwetter

セアカクロジョウカイ

体黒色、前胸は橙黄色乃至赤色、大腿は赤褐色を呈する。全体に灰黄色の短い軟毛を密生し、光沢がない。体長、8~10mm、少い。

産地：宝塚 (1ex., 19—Ⅳ—1958), 神戸市円生山

(1ex., 18—Ⅴ—1958), 氷上郡 (山本, 1958)

14. *C. adusticollis* Kiesenwetter

ムネアカクロジョウカイ

15. *C. aergrota* Kiesenwetter

クロホソジョウカイ

産地：氷上郡柏原町 (10—Ⅵ—1959), 粟鹿峯 (31—Ⅴ—1959), 養父郡氷の山 (1ex., 27—Ⅶ—1956)

16. *C. badia* Kiesenwetter

産地：養父郡氷の山 (中根, 1953) (17—Ⅲ—1963)